

# やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2022 **5**  
令和4年5月11日発行  
No.116

やまのべ  
議会だより

2022年5月号 VOL.116



**みんなでいっしょに帰るんだ!**

3月定例会当初予算	2
予算特別委員会	4
議案審議	6
一般質問	8
臨時会	11
新しいまちへの挑戦 議会活動報告	12

写真/山辺小学校一年生下校の様子 (関連記事 14ページ)

発行/山形県山辺町議会  
編集/広報常任委員会  
Eメール:gikai@town.yamanobe.yamagata.jp  
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地  
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112

山辺町議会  
ホームページは  
こちら



## あなたの声をお聞かせください

畑谷城ガイドの会の方々からのメッセージ



畑谷城ガイドの会  
事務局長  
村山 賢司さん

作谷沢地区の畑谷にある畑谷城跡において、畑谷城ガイドの会(会長鈴木行雄 会員15名)で、ゴールデンウィークから11月3日までの土日祝日に交代で現地のご案内をしています。畑谷城跡は領地境の山城で、北の関ヶ原といわれる慶長出羽合戦の激戦地です。慶長5年(1600年)9月12日に上杉軍2万の大軍が最上領に侵攻し、迎え撃つ畑谷城主江口五兵衛光清をはじめとする最上軍500人と2日間の激戦の末、最上勢が皆殺しとなり落城した城です。慶長出羽合戦当時の多様な空堀(大規模な横堀・堅堀・二重横堀・多重堅堀)、土塁、虎口、曲輪、土橋などの城郭遺構が良好に残っており、分かりやすく見られます。畑谷城跡は書籍で山形県内城郭ベスト10ランキング2位に輝き、城好きで知られる春風亭昇太郎匠にも絶賛され



るなど、全国的に知られています。令和3年度も北は札幌市から南は高知県まで、全国各地から78人が来城しました。ご案内したお客様からは「素晴らしい」「よく整備している」「よかったです」などのお声を多くいただいております。今後は、畑谷城跡の文化財としての詳細な調査や整備と、周辺観光地や地区の特産物と共に発信していければと思います。町民の皆さんも是非お越しください。9月13日頃の畑谷城灯籠流しにもお越しください。

## 表紙の説明



山辺小学校の下校時にお邪魔しました。一年生はみんなで一緒に下校します。保護者の方も交代で一緒に帰るようです。入学時は少し緊張した様子でしたが、今ではもう立派な一年生ですね。みんなの笑顔を見れば楽しい学校の様子が目に浮かびます。これから6年間でたくさんの友達をつくってさまざまなことにチャレンジし、いつばい勉強して立派な人になってください。

## 編集後記

昨年以上の豪雪に見舞われた今冬の雪も、あつという間に消え、この議会だよりが町民の皆さまに届く頃には、新緑の季節を迎えていることと思います。一方、自然災害ともいえる新型コロナウイルス感染症の収束の出口が一向に見えず、不安な日々もまた現実です。それに加え、人災であるプーチン大統領の無法なウクライナへの侵略は遠い東欧の出来事のようにですが、原発への攻撃や「核兵器の使用」をも示唆する狂気が世界中の国民が結束して「戦争ノ」の声で暴挙を止めさせましょう。3月定例会議は、「平和」を前提にして「町民の安全・安心」なくらしを支える令和4年度の予算を決定しました。つつがなく予算が執行されることを願います。

- 発行責任者 樋口 和男  
広報常任委員会  
委員長 渡邊 裕二  
副委員長 安達 春彦  
委員 遠藤 真由美  
委員 佐藤 利博  
委員 竹俣 朋和

峯田 博記

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<https://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



安全で安心して暮らせる  
まちづくりを目指して

一般会計予算

総額 56億 6426万円

令和3年度 +3億 3419万円  
当初予算比

6.3%の増

令和4年度予算総額

限られた貴重な財源を  
重要事業に効率的に配分

94億 9806万円 可決  
前年比 3億 9980万円 4.4%の増  
歳入歳出とも検証に基づく予算額

定例会のあらまし

第一回定例会が2月28日から3月11日の12日間の会期で開催され6名の議員が一般質問を行いました。  
町長より令和4年度一般会計および特別会計並びに公営企業会計の予算関係6議案についての基本的な方針とその概要の説明を受け、直ちに予算特別委員会に付託し、最終日に特別委員長の報告により全会一致で可決しました。

今年度の  
主な  
重点事業

河川維持管理事業



災害に強い河川へ

○愛宕沢川改修工事費  
など

3411万円

山辺温泉保養センター  
運営事業

○施設修繕料  
○熱交換器等更新工事 など

3711万円



消防・防災・  
救急体制の充実

○山形市への消防・  
救急業務委託  
○J・アラート自動発  
信システム整備  
など



3億 3679万円

近江住宅2号棟  
補修工事事業

○屋根防水外壁補修

2540万円

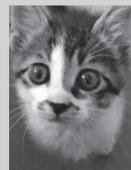


快適な住環境に

愛玩動物等  
飼育衛生指導事業

○猫不妊・去勢手術  
費補助金 など

56万円



幸せな家族の一員として

本庁舎管理事業

○本庁舎空調設備リース  
○自動火災報知設備更新  
など

6225万円



来庁者にも職員にも快適な環境を

教育・保育施設給付事業

○教育・保育給付費無料化  
推進 など

2億 9498万円



健やかな成長のために

予算特別委員長報告

より効果的な行政運営と、山辺町におけるSDGs達成に向け多くの英知を集結し、町民の方々が安全・安心で住み続けられるまちづくりのため、次の事項に対して意見を付しました。

- 未利活用の公有施設や町有地の処分も視野に入れた財源確保を
- 空き家の状況把握と空き家バンク登録で移住定住の促進を
- 防災を含めた地域コミュニティの推進を
- いじめや不登校の未然防止に努め「学校」「家庭」「地域」の連携で、健全な学校教育の推進を
- 今後もなお一層の収納率向上を
- 幼児教育・保育無償化の給付支援で、償還払い制度などの早期改善を
- 重粒子線がん治療支援事業で、国、県と連携し、町民の充実した暮らしに貢献を
- コロナ禍による利用者減少の山辺温泉保養センターは、指定管理者と連携して持続可能な町民福祉の向上を
- LED防犯灯の更新時期で、将来的助成のあり方など検討を
- 町内産さくらんぼの山辺ブランド確立を
- 災害の未然防止で道路、河川、水路などの監視点検強化を

令和4年度会計別予算明細

会計名		令和4年度予算額	令和3年度予算額	前年度比 (%)
一般会計		56億 6426万円	53億 3007万円	6.3
特別会計	国民健康保険	14億 9324万円	14億 6234万円	2.1
	介護保険	16億 5270万円	16億 3967万円	0.8
	後期高齢者医療	1億 8489万円	1億 6784万円	10.2
公営企業会計	簡易水道事業	1927万円	1336万円	42.1
	公共下水道事業	4億 8367万円	4億 8809万円	△0.2

# 限られた予算を有効に… 予算特別委員会

# チェック Q&A

令和4年度予算審議に対し、議長を除く全議員で予算特別委員会（委員長 渡邊 裕二、副委員長 佐藤 利和）を2月28日に設置しました。第1、第2分科会で4日間の審議を行い、3月11日に委員長から総括の報告を受け、本会議において全会一致で採択されました。

## 総務文教 第1分科会 総務課・防災対策課・政策推進課・税務課 会計課・教育委員会教育課・議会事務局

**Q** ゴルフ場利用税交付金並びにゴルフ利用者の状況は。

**A** 実績を考慮し増額している状況であり、利用者も増えている。（総務課）

**Q** 中支所のサイレンが鳴らなくなっているが現在の状況は。

**A** サイレンは2年程前に壊れた。地区からも要望はあり防災放送で音楽を流せないか検討を進めている。（総務課）

**Q** 職員の定数は。また、4月採用数と会計年度職員の見込み数は。

**A** 定数は127名、現在職員115名で新規採用は8名予定している。会計年度

任用職員を年間を通して常時80名程度雇用している。（総務課）

**Q** 防災放送が聴き取りにくい地域に対するデジタルを通じた支援は国からあるのか。

**A** 現在、国からの情報は無い。また、点検時に機器の調整をしているが情報を自ら取りに行くこともお願いしたい。なお、情報を収集しながら検討していきたい。（防災対策課）



素晴らしい眺望のもとでナイスショット！

**Q** 自主防災組織の現在の状況は。

**A** 令和3年度の新規組織はなく、現在67組織で組織率は93・9%である。（防災対策課）

**Q** 令和4年度のSDGsの取り組みは。

**A** SDGsの担当はすべての課だと認識している。第5次総合計画の実施事業が取り組みになると考えている。（総務課／政策推進課）

**Q** 不登校やいじめの状況と今後の対策の考えは。

**A** いじめは12月時点で昨年より減少傾向。教職員が丁寧に対応している。小学校の不登校は減っている。

が中学校では増えている。さらにコロナ禍でのいじめなどへの対策が必要だと考えている。（教育課）

**Q** ICT支援員の活動内容は。

**A** 授業や学習活動などへICT活用に対する支援のため各校に1名派遣している。なお、教職員への研修会や指導も行って。（教育課）

**Q** 中央公民館の備品購入は。

**A** 図書室書棚の増設とビデオプロジェクターの持ち運び可能なスクリーンの購入を検討している。（教育課）

**Q** 体育施設管理でウオータースライダー使用の考えは。



より利用しやすく

**A** 町としては使用禁止で考えている。（教育課）

**Q** 町税のコンビニエンスストア収納の状況は。

**A** 3月7日現在、7181件で約9113万円以上がコンビニ納付されている状況で、好評を得ていると考えている。（税務課）

## 厚生産業 第2分科会 町民生活課・保健福祉課・産業課 建設課・農業委員会

**Q** 山形県出産支援給付金交付事業補助金の内容は。

**A** 出産費用と出産育児一時金との差額5万8千円の給付。令和3年度からの事業で60名から申請があった。令和4年度は子ども子育て計画により75名分を見込んでいる。（保健福祉課）

**Q** 保育所トイレの改修内容は。

**A** 保育所のトイレは3歳以上ののお

子さんを想定した設計となっている。保育希望が増えている3歳未満のお子さんを受け入れるため、小さい子が使いやすいトイレと周辺の改修を予定している。（保健福祉課）

**Q** 猫不妊・去勢手術費補助事業の内容は。

**A** 対象となるのは町内での飼い猫と飼い主のいない猫。手術費の補助で上限はオス5千円、メス8千円。ただし飼い猫は1

回の予定。詳細は要綱で定める。（町民生活課）

**Q** LED防犯灯推進事業補助について、今後町内でLEDの更新時期が一斉に来るが、内容は。

**A** 令和4年度の事業は新興住宅地などが対象。今後の補助制度については検討していく。（町民生活課）

**Q** さくらんぼブランド力継続支援事業補助金の内容は。

**A** さくらんぼハウスの長寿命化に係る修繕補助金で、新たに創設した。（産業課）

**Q** 水田農業構造対策補助金について、農家の収益を考

て売れる米作りを推進してほしい。

**A** 米価下落に対する新たな支援策として、米農家への補助を行うことにより、販路拡大につなげていく。（産業課）

**Q** 芦沢住宅1・2号棟除去工事費用と共にアスベスト調査業務費用とあるが、除却費用はアスベストがある場合も考慮しているのか。

**A** 調査にアスベストが確認されることも考慮して除却費用も計上している。（建設課）

**Q** 河川維持管理事業、愛宕沢川改修費用の今後の全体的な見込みは。

**A** 工事全体は3000万円×3年間の9000万円を考えている。令和4年度は法面工事、木の伐採ハウエル管を2本程度設置予定。（建設課）



不幸な猫を増やさないために



撤去される芦沢住宅

誰ひとりとり残さない  
まちづくりのために

より良いまちづくりを  
目指して

# 議 案 審 議

## 規約・条例の制定

○山辺町と山形県との間の行政不服審査法第81条第1項に規定する機関の権限に属された事項を処理する事務の委託に關する規約の制定

○山辺町行政不服審査会条例等を廃止する等の条例の制定

「行政不服審査会」の権限に属された事項を処理する事務を山形県に委託するための措置です。

●山辺町職員の勤務時間、休暇等に関する条例一部改正

国家公務員の妊娠・出産・育児などと仕事の両立支援に、新たに不妊治療のための休暇が設けられたことから、山辺町においても同様の休暇を新設するためです。

●山辺町一般職員の職員給与に關する条例及び山辺町特別職の職員の給与に關する条例の一部改正

令和3年度山形県人事委員会勧告などに伴う改正と併せて管理職手当の定額化を図るための措置です。

## 人事案件

○山辺町監査委員選任の同意  
遠藤 剛氏（山辺）

○山辺町社会教育委員の選出  
安達春彦、峯田 博

○ふるさと資料館運営委員の選出  
佐藤利和

○山辺町国民健康保険運営協議会委員の選出  
遠藤真由美、峯田 博

○山辺町介護保険運営協議会委員の選出  
鍋倉竹志、竹俣 朋

○山辺町地域包括支援センター運営協議会委員の選出  
鍋倉竹志

○山辺町温泉保養センター運営協議会委員の選出  
鍋倉竹志

## 条例の一部改正

●山辺町職員の服務の宣誓に關する条例及び山辺町固定資産評価審査委員会条例の一部改正

国の押印見直し方針および山辺町申請書など押印見直し方針に基づき、行政手続きにおける書面への押印義務を廃止するものです。

●山辺町国民健康保険税条例一部改正

令和2年12月に閣議決定された「全世代型社会保障改革の方針」などに基づき、関係法令の改正が行われたことによるものです。

●山辺町営住宅条例の一部改正

町営住宅芦沢住宅1号と芦沢住宅2号は、入居者もなく、耐用年数を超え老朽化が著しいことから、用途廃止とするための措置です。

## 令和3年度 一般会計補正予算

3343万円を追加し、  
総額64億8373万円に

主な増減額は

歳入	
寄付金	5700万円の増
県支出金	1650万円の減
県補助金	1535万円の減

歳出

公共施設等再生整備基金積立金	3000万円の増
ふるさと応援基金積立金	5700万円の増
障がい者総合支援事業	1067万円の増

教育・保育施設給付事業

1212万円の増

山形広域環境事務組合負担金

1485万円の減

農作物災害対策事業費補助金

562万円の減

道路除雪業務委託料

4000万円の増

がけ地近接等危険住宅移転補助金

512万円の減

中学校光熱水費

775万円の増

学校施設整備基金積立金

1億円の増

体育施設維持工事請負費

1100万円の増

予備費

1024万円の減

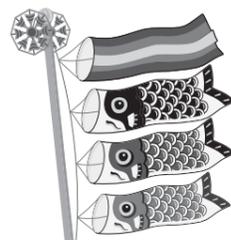
## 特別会計補正予算

会計名	予算増減	総額
国民健康保険特別会計	2347万円の減	14億8882万円
介護保険特別会計	1億768万円の減	16億4803万円
後期高齢者医療特別会計	6万円の増	1億7224万円

## 公営企業会計補正予算

会計名	予算増減	総額
簡易水道事業会計	26万円の減	3269万円
公共下水道会計	1578万円の減	3億5719万円

※各会計は事業実績見込みによります。



## 鍋倉竹志議員 自治功労者として表彰

町村議会議員として永年、地方自治の進展に寄与された功績により、山形県町村議会議長会より自治功労者として表彰されました。





# 一般質問 町政のここはどうする?

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

3月の定例会では、6名の議員が一般質問を行いました。

<b>武田啓一郎</b> <b>雪対策</b> 高齢化、人口減少化の中 協働除雪への取り組みを	<b>竹俣 朋</b> <b>道路管理</b> 町内の道路行政マネジメントは
<b>峯田 博</b> <b>コロナ対策</b> 新型コロナウイルス 感染拡大の影響と支援は	<b>鍋倉 竹志</b> <b>駅舎改修</b> 都市再生整備計画にあった 観光交流センター（駅舎）と 駅周辺整備の今後の取り組みは
<b>佐藤 利和</b> <b>文化活動支援</b> 町の第5次総合計画における 生涯学習の現状は	<b>安達 春彦</b> <b>人口減少対策</b> 積極的な土地利用転換で 人口回復を

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

**定例会のお知らせ**  
今回の定例会は6月です。傍聴については、町ホームページをご覧ください。電話 023-667-1117（議会事務局）

## 高齢化、人口減少化の中 協働除雪への取り組みを



**武田啓一郎** (町長) 除雪は生活に密着  
地域の課題としていく

**質問** 町雪対策、除排雪の現在と将来的な課題問題は、道路への雪出しの指導は、隣近所、地域が円満になれ、地域コミュニティ形成にもつながる雪対策として、協働除雪の取り組みをすべきでは。

**答弁** 除雪作業オペレーターの人員不足、育成教育、技術向上など課題がある。技術向上の講習も検討が必要。思いやり除雪について、請負者に伝えている。公助による除雪対応力には限界があり、共助を中心とした地域除雪活動の推進は、重要な共通課題。地域の防災力の強化などにもつながるので、協働除雪の普及のみならず、



町内会のできる範囲程度の雪対策参加にも大きな意義が

**答弁** 情報発信ツールを活用し、雪対策に関する情報を速やかに、積極的に発信していきたい。中地区ブロック協議会では、従来の「みんなですつべ雪遊び」という行事を、「みんなですつべ雪運び」に変えて試行した。今般の大雪を機に、住民の皆さまが地域の課題としてとらえ、つながりを深めていくことを目指す。

## 新型コロナウィルス 感染拡大の影響と支援は



**峯田 博** (町長) 児童生徒は治療に専念、  
回復後は手厚く援助する

**質問** オミクロン株より感染力がさらに高いBA・2の感染拡大が心配。自宅療養や入院調整中の同居家族は濃厚接触者となるが行動制限は。

**答弁** まずは治療に専念してもらい、その後はタブレットを使い自宅で学べる体制を整備している。治療を終え、登校できた際は、療養期間中に遅れた部分への対応を個にに応じて行っている。心のケアに関しては、感染した児童・生徒の心に寄り添い対応していく。

**質問** 濃厚接触者の待機期間は、科学的知見に基づき最終暴露日から10日間とされている。本人は外出を避け、同居家族は熱を測るなど健康観察し、不要不急の外出を避け、特に咳や発熱などの症状があるときは、職場などに行かないよう指導されている。

**答弁** 収束への出口とアフターコロナに向けた経済再生が見通せない状況であり、引き続き支援が必要。個人消費の喚起策による幅広い事業者への経済効果を生み出す支援策を町商工会と連携しながら

**質問** 児童・生徒の感染者に対する学業支援や心のケアは。

**答弁** 児童・生徒の感染者に対する学業支援や心のケアは、



期待を胸に新入学

ら組み立てていきたい。「共助」のまちづくりと、入学祝い金は

**質問** 「共助」を町内会やブロック会議で話し合う視点のガイドラインの作成は。

**答弁** 各々の地域が抱える地域の実情や住民自治組織の自主自立性を尊重するうえでも、町から強いるようなものではないため、作成することはできない。

**質問** 令和4年度の町の商工業者への支援は。

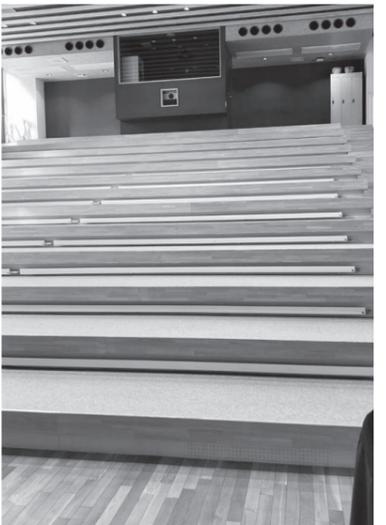
**答弁** 令和4年度の町の商工業者への支援は、

**質問** 令和4年度の町の商工業者への支援は。

**答弁** 令和4年度の町の商工業者への支援は、

**質問** 令和4年度の町の商工業者への支援は。

**答弁** 令和4年度の町の商工業者への支援は、



幅広く生涯学習の場に (山辺中学校)

## 町の第5次総合計画における 生涯学習の現状は



**佐藤 利和** (町長) 教育基本法を理念として  
各種施策を展開する

**質問** 2003年に開催された国民文化祭を機にやまのべ童謡音楽祭が開催され、やまのべ合唱団を中心とした青少年合唱団などを含め30団体を超えるサークルが活動を続けてきたが、少子高齢化に伴い20前後に減少している現状がある。それを踏まえ、若い世代への活動支援は。

**答弁** 薫り高い文化の町を発信するために、も町出身で活躍されている方々の情報を集めて、講演会やシンポジウムを開催してはどうか。

**質問** 近年のライフスタイルの変化やスマートフォン社会の到来によるネット社会の到来による社会情勢を踏まえ、若い世代の文化活動に対しては文化庁の指針による伝統文化親子教室事業の推進や、公民館活動ならびに社会教育関連施設などと連携しながら文化活動

**答弁** 近年のライフスタイルの変化やスマートフォン社会の到来によるネット社会の到来による社会情勢を踏まえ、若い世代の文化活動に対しては文化庁の指針による伝統文化親子教室事業の推進や、公民館活動ならびに社会教育関連施設などと連携しながら文化活動

**質問** 近年のライフスタイルの変化やスマートフォン社会の到来によるネット社会の到来による社会情勢を踏まえ、若い世代の文化活動に対しては文化庁の指針による伝統文化親子教室事業の推進や、公民館活動ならびに社会教育関連施設などと連携しながら文化活動

**答弁** 近年のライフスタイルの変化やスマートフォン社会の到来によるネット社会の到来による社会情勢を踏まえ、若い世代の文化活動に対しては文化庁の指針による伝統文化親子教室事業の推進や、公民館活動ならびに社会教育関連施設などと連携しながら文化活動

### 町内の

## 道路行政マネジメントは



朋（町長）町民からの意見を反映しつつ優先順位を整理し、効率的效果的な整備を進めていく

**質問** 当町の降雪時の除排雪出動基準は。

としている。

**答弁** 早朝除雪は、車道・歩道とも午前2時30分現在で、「積雪量が概ね10cmに達したか、達する見込みのある場合」の出動。排雪作業には明確な基準はないが、路面状況、交通量などを勘案し除雪した雪で通行に支障をきたす場合に行っている。

**質問** 積雪のない時期、路肩は便宜上歩道利用されている。堆雪場になると、交通弱者である歩行者が、危険にさらされるのでは。

**答弁** 昭和46年もしくは49年に計画決定された路線。その後計画変更をしているが、事業認可を受けておらず未着手路線もある。社会情勢の変化に伴い、計画決定時の路線の必要性も変化している。都市計画決定自体の見直しの必要も含め、検証検討を重ねていく。

費がかかることから、優先順位を整理している段階である。

### 駅舎改修

## 都市再生整備計画にあった観光交流センター（駅舎）と駅周辺整備の今後の取組みは



竹志（町長）第2期都市再生整備計画の通り、駅前広場、駅前駐留場の整備は全て完了している

**質問** 国の補助事業を活用しての都市再生整備事業は期間的に無理と見直しになったが、再度トライして観光交流センターの建設は考えているか。

**質問** 駅の安全面に対する苦情などは受けていない」とJRから報告を受けている。

**質問** わが町には県立山辺高等学校もあり、地元高校生、通勤者など乗降客が多い駅なので、整備について今後も検討してほしい。

**質問** 「JR左沢線対策協議会」の中で、東日本旅客鉄道左沢線営業駅乗客調査データでは羽前山辺駅は寒河江駅と同じくらいの乗降客がいるとなつている。町主体の駅舎改修が無理であれば、耐震基準の安全面や乗降客実績でJR東日本から建設してもらえないよう、協議会の中で強く働き掛けをしてもらいたい。

**答弁** 駅周辺整備は、今のところ考えていないが、山辺町の都市構造に合った都市計画事業の必要性を検証し検討していく。

**質問** 当町の外側線の外側または路肩の除雪基準は。

一般国道458号線と町道前小路西町線の交差点部改良の計画は。

**答弁** 基準はない。外側線の白線が見えることを一つの目安として、できる限り幅広く車道除雪している。当町では外側線の外側は雪を積み上げる堆雪場

**答弁** 長い年月と多額の事業費がかかることから、優先順位を整理している段階である。



大雪の後の除排雪作業

**答弁** 定期的な施設の安全点検や清掃は実施している。これまで、

**答弁** 協議の中でも駅の改修希望が多く、なかなか実現できない現状ではあるがJRに要望していく。



老朽化が進む羽前山辺駅

### 人口減少対策

## 積極的な土地利用転換で人口回復を



春彦（町長）施策の優先順位を見極め、適正な土地利用と人口減少対策に取り組む

**質問** 加速度的な人口減少という結果を踏まえ、将来的な土地利用転換計画策定の考えは。

**質問** 国土利用計画に基づいた土地利用転換が図られた場合の人口は。その根拠は。

**答弁** 令和4年度1万4千2百人、令和9年度1万3千8百人と見込んでいる。根拠については平成27年策定の「やまのベ人口ビジョン」に基づいている。

力による住環境の整備が行われるよう、適正な土地利用に努める。

**質問** 国勢調査の結果を受け、人口回復策に向けた土地利用を、国土利用計画の後期へどのように反映させるか。

**答弁** 人口減少対策を含めた「やまのベ総合戦略」において、各種施策に取り組んでいる。人口減少対策を講じながら、将来の人口予測を見据えた本町の規模に見合った適正な土地利用を図っていく。

**質問** 戦略的な土地利用転換を図り、他にはない「山辺モデル」を示していく考えは。

**質問** 町の積極的な関わりにより土地利用転換を図っていくか、誘導していく考えはないか。

**質問** 市街地内の農地は点在していることから民間開発型を促したい。

**答弁** 市街地内の農地は点在していることから民間開発型を促したい。

**答弁** 農地や低未利用地の有効活用を促進し、基本的には民間活



人口回復の近道、土地利用転換で良好な住宅地へ

## 第1回臨時会

令和4年1月17日

### 第1回臨時会のあらまし

令和4年1月17日、第1回臨時会が開催され、令和3年度一般会計補正予算（第6号）についての専決処分と、山辺町中央公園及び体育施設の指定管理者の指定、令和3年度一般会計補正予算（第7号）について町長より説明があり、全会一致で可決されました。

#### 令和3年度 一般会計補正予算第6号

国庫補助金により、子育て世帯への臨時特別給付金。  
1億円の増  
総額 62億287万6千円

#### 山辺町中央公園及び体育施設の指定管理者の指定

指定管理者の名称 株式会社パスラポ  
指定期間 令和4年4月1日から  
令和7年3月31日まで

#### 令和3年度 一般会計補正予算第7号

地方交付税と国庫補助金などにより、非課税世帯への臨時特別交付金や、PCR検査委託料、米価下落に対する水田農業構造対策補助金など。  
2億4742万4千円の増  
総額 64億5030万円

※専決処分とは…地方公共団体の議会が議決または決定すべき事項を、特定の場合に限り、地方公共団体の長が議会に代わって処理すること

総務文教常任委員会

## 豪雪による危険度の高い 通学路の早急な除排雪作業を

今冬の豪雪による町内小中学校児童生徒の安全・安心な通学路並びに歩行者をはじめ生活弱者などに対する通行確保の実態把握のため、1月28日に常任委員会を開催し20カ所の現場視察を行いました。町は1月19日に「山辺町豪雪対策本部」を設置し町民の皆さまの生活を守るため対応しています。

しかし、現地では児童生徒の通学する歩道の除雪は概ね整備されていましたが歩道の未設置箇所並びに横断歩道については一部横断できない箇所も見受けられました。

また、各交差点にも積雪量が相当あり児童生徒のみならず、運転者の安全を確保するためにも、委員会として早急な除排雪作業を関係各課並びに諸団体とも連携を図り、豪雪による事故の未然防止に努めてほしいと要望しました。



児童・生徒の安全安心な通学路の確保を

行財政調査特別委員会

## 今後も持続可能な 行政運営を

平成30年3月議会定例会に行財政改革の一環として、職員の給与削減の議案が提出されたことから、町の財政状況を調査するため特別委員会が設置されました。特別委員会は、これまで7回開催し、扶助費の増額などにより財政を圧迫している状況、起債残高は一般会計・下水道事業を合わせて100億円程度あることや老朽化した公共施設は今後35年間で約430億円ほど見込まれるなど、報告や説明で把握することができました。

昨年11月に第3次山辺町行財政改革大綱 評価・検証最終報告や次年度の予算内示で、これまでにない金額を基金として積立ができる見込みで、職員給与も元に戻る説明を受けたところです。



町民目線の町政運営に期待

国道458号改良促進特別委員会

## 山辺工区は動き出し期待

山形西部地域の将来発展に大きな期待が寄せられている、都市計画道路山辺中山線の国道458号の進捗状況などについて、2月18日に協議を行いました。現在、県野球場の南、中山町の町道長崎土橋線までの交差点改良が優先され、渋滞緩和のための交差点右折レーン整備と軟弱路盤改良が進められています。旧大寺小学校北の大寺バイパスなどについては、今後の社会情勢などにより改めて整備方針が示されます。

同国道整備に関連して交通安全道路事業（山辺工区）として進められている主要地方道山形朝日線（上宿・西之表間）については、用地測量が行われ、南側から用地交渉を行い、買収を進め、順次整備工となる見込みです。

委員会としては、県に対する重要事業要望事項として、令和5年度においても町と共に関連整備事業の促進を強く働き掛けていくことを確認しました。



道路拡幅と歩道が整備される山形朝日線

## いのちを育むご飯を

山形広域炊飯施設をオープン前の3月28日に視察してきました。

老朽化した民間炊飯施設を一新し、新たに山形市・寒河江市・上山市・村山市・中山町・河北町・大石田町・そして山辺町の4市4町での連携運営がいよいよ始まります。

安全・安心でおいしいご飯を児童、生徒に提供するための、全自動炊飯システムを利用した清潔な環境下での炊飯施設を見学しました。試食もさせていただきましたが、ふっくらとしたご飯に、子ども達のおいしい笑顔が目に見え、嬉しかったです。オープニングセレモニーは4月5日に行われました。



## 第12回 議会報告会開催のお知らせ

# 未来を話す会

日時：6月4日(土) 夜7時～  
会場：中央公民館

**まちづくりは、ちょっとしたアイデアから生まれます！**

山辺町の未来について、あなたの思いやアイデアを気軽に話してみませんか。

※ご来場の際は事前に検温のご協力をお願いいたします。また、会場ではマスクの着用をお願いいたします。  
※新型コロナウイルス感染症の影響により延期になる場合がありますので、事前にお問い合わせください。

議会事務局 023-667-1117

## 議員決議 ロシアによる ウクライナ侵攻に抗議する決議

山辺町は、「世界の良心」と称えられ日本を代表する外交官であった「安達峰一郎博士」の生誕の地である。

山辺町議会は、安達峰一郎博士の理念に基づき、国際社会に正義と公平に基づく平和をもたらすべく、ロシア軍によるウクライナへの攻撃や主権侵害に対し、厳重に抗議の意を表す。そして、ロシア軍を完全かつ無条件で即時に撤退させるよう国際法に基づく誠意を持った対応を強く求めることを表明する。

3月11日

おじゃまします！

# 出前議会

まちづくりについて  
議員と話してみませんか。

いろんなアイデアやご意見、お聞かせください。地域の集まり、子ども育成会、会社・グループなど少ない人数でもご指定いただいた会場にこちらから伺います。

土日、夜でも対応いたします。

お申し込みは、お近くの議員まで  
お気軽にお話しください。

希望日は  
ご相談ください